

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)				区分									
5	ごみ減量・リサイクル推進事業(廃棄物処理対策事業)			新規 拡大 継続									
会計区分	款	項	目	所管									
一般会計	4	2	1	環境局 環境共生部 廃棄物政策課									
事務事業の位置付け													
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名										
総合振興計画新実施計画	事業コード	1103	事業名	ごみ減量・リサイクル推進事業									
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
予算要求事業の概要													
内容	一般廃棄物処理基本計画を見直し、新たな削減目標を設定します。さらに、市民意識調査を実施し、市民の声を踏まえたうえで、新たな施策についての検討を行います。												
目的・目標	<p><目的> 持続可能な社会の構築に向け、「ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市)“さいたま”の創造」を基本目標に掲げ、循環型社会の形成を推進することを目的としています。</p> <p><目標(平成22年度末、平成29年度末)> <table border="1"> <tr> <td>1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)</td> <td>840g</td> <td>780g</td> </tr> <tr> <td>2 再生利用率</td> <td>26%以上</td> <td>34%以上</td> </tr> <tr> <td>3 最終処分比率</td> <td>8%以下</td> <td>6%以下</td> </tr> </table> </p>				1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)	840g	780g	2 再生利用率	26%以上	34%以上	3 最終処分比率	8%以下	6%以下
1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)	840g	780g											
2 再生利用率	26%以上	34%以上											
3 最終処分比率	8%以下	6%以下											
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> <table border="1"> <tr> <td>1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)</td> <td>843.7g</td> </tr> <tr> <td>2 再生利用率</td> <td>24.02%</td> </tr> <tr> <td>3 最終処分比率</td> <td>8.20%</td> </tr> </table> <p><課題> 1 排出量 ごみ減量を推進した結果、中間目標達成が目前となっています。しかし、家庭ごみのみについては、数値目標の達成は厳しい状況にあります。 2 再生利用率 焼却灰やスラグ等の有効利用量を増やす必要があります。 3 最終処分比率 市内最終処分場は、環境広場であと7年、うらわフェニックスであと16年で満杯となる状況にあり、新たな最終処分場の建設が困難な中、埋立量を減らし市内最終処分場の延命化を図ることが急務です。</p> </p>				1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)	843.7g	2 再生利用率	24.02%	3 最終処分比率	8.20%			
1 1人1日あたりの排出量(資源物を除く)	843.7g												
2 再生利用率	24.02%												
3 最終処分比率	8.20%												
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年 8月 市民意識調査 平成23年 3月 一般廃棄物処理基本計画改訂 												

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	21,000 <積算内訳> 1 一般廃棄物処理基本計画の見直し【新規】 15,750 2 市民意識調査【新規】 5,250
	財源内訳 一般財源	21,000 <要求理由> 平成17年度に見直しを行った一般廃棄物処理基本計画は、平成18年度を初年度とし、概ね5年毎に計画の達成状況を見直し、内容の再検討を行うものとしていることから、ごみ減量についての市民意識調査並びに計画の見直しを行うために必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	4,000 <査定内容> 1 一般廃棄物処理基本計画の見直し【新規】 0 2 市民意識調査【新規】 4,000
	財源内訳 一般財源	4,000 <査定理由> 基本計画見直し経費については、市民意識調査結果を踏まえる必要があるため、予算化を見送りました。
	市長査定	4,000 <査定内容> 同上
	財源内訳 一般財源	4,000 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。